



志賀小学校道徳便り

はーとふる志賀



令和7年12月5日

朝晩の冷え込みがぐっと強まり、あの元気な子どもたちも上着が手放せない、そんな季節になりました。保護者の皆さまには、日々の健康管理にご協力いただき感謝申し上げます。県内では、まだまだインフルエンザの猛威は続いているようです。健康でそして楽しく次の年を迎えられたらと思いますので、引き続き体調管理をよろしく願いいたします。

あともう少しで冬休みです！終わりが見えると頑張れますね。学校でも、もうひと踏ん張り頑張っている子どもたちです。

さて、今月号では、ローテーション道徳の様子をお伝えします。



【ローテーション道徳】

志賀町の共通実践としてローテーション道徳という取組があります。管理職や級外の先生にも道徳を行ってもらうことで、学校全体で道徳教育を進めていくことや、授業者と担任とで子どもたちの考えを把握して深い学びにつなげることを目的としています。学期に1回ずつ行っています。2学期は1・3・5年生のみなさんと管理職が授業を行いました。

1年生

主幹教諭による「はなばあちゃんがわらった」

はなばあちゃんは、花と子どもが大好きで毎朝登校する子どもたちを見送っている。ある日、花が盗まれて落ち込むおばあちゃん。そんなおばあちゃんを励まそうと子どもたちは、画用紙いっぱい花の絵を描き、花があった場所にその絵を貼る。それを見たおばあちゃんは笑顔になり子どもたちは喜ぶ。



友だちやお年寄りなど、周りの人に優しい気持ちをもって相手を大切に思う気持ちを学びました



3年生

教頭先生による「耳の聞こえないお母さんへ」

「わたし」が耳の聞こえない母へ宛てて書いた手紙で、手紙に書いてあるエピソードには母を思う「わたし」の気持ちだけでなく、母が「わたし」を思う気持ちも表れている。



家族を大切に思ったり、父母を敬ったりして、家族の一員として家庭を明るく楽しくしていこうとする気持ちを高めました！

5年生 「引っ越しの手伝い」

おじさんの引っ越しでお手伝いをする動物たち。クマは大きくて重い荷物を運び、パンダはホコリを掃除機で吸い家をきれいに、ネズミは小さいに荷物を何度も何度も運び、イヌは一番年上なので、まとめ役としてみんなに指示を出します。おじさんは30冊のノートをお礼に渡しますが、だれに何冊配るのでしょうか。



クマさん	8冊	ネズミさん	8冊
パンダさん	9冊	イヌさん	7冊

なぜそのような分け方にしたのか、それぞれの理由を書こう。

	理由
クマさん	大きくて、重い荷物をたくさんはこんでくれたから。
パンダさん	ホコリを吸い取って、家をきれいにしてくれたから。
ネズミさん	小さくて、たくさん荷物を何度も何度も運んでくれたから。
イヌさん	みんなのまとめ役として、みんなに優しくしてくれたから。

	理由
クマさん	大きくて重い荷物をはこんでいたから
パンダさん	ホコリを吸い取っていたから
ネズミさん	小さな荷物をはこんでいたから
イヌさん	年上で年下を助けるべきだから



自分がおじさんなら、それぞれにノートは何冊配るか考えました。それぞれの考えが異なるなか、互いの考えに耳を傾けていました。話し合いを通して、労働と対価について考えました。



いつも道徳だより「はーとふる志賀」を読んでいただきありがとうございます。ご家庭でも、ぜひお話のきっかけにいただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

管理職や級外の先生の道徳授業を受ける機会は少ないので、新鮮さを感じながら自分の考えだけでなく友達の影響も大切にして話し合いをしていました。

